

松戸排水区(小山地区) 大規模雨水処理施設整備事業計画(松戸市)

(様式1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	松戸排水区407haのうち78haの雨水を排水する小山ポンプ場は、昭和47年に設置した施設であり供用開始から50年以上が経過し、原動機をはじめ雨水ポンプ設備等の老朽化が進行している。 これらの設備について適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	① 本計画における対象降雨(現況) ・ 本計画における対象降雨: 50mm/h ・ 目標とする理由: 公共下水道事業計画における計画降雨 ・ ハード整備による整備水準の目標: 50mm/h (1/5確率降雨) ② 目標設定 i) 生命の保護の観点 : 要配慮者利用施設の浸水被害を防止する。 ii) 都市機能の確保の観点: 道路の冠水被害を防止する。 iii) 個人財産の保護の観点: 家屋の浸水被害を防止する。 iv) その他 : 松戸市下水道ストックマネジメント計画に基づく事業 ③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について i) ハード対策 施設整備により 50mm/h (1/5 確率降雨) において浸水被害を防止することを目的とする。 ii) ソフト対策及び自助 施設整備で対象とする降雨量を上回る降雨においては、下水道管理者による内水ハザードマップの公表などの情報提供、地域住民による土のう設置など、それぞれの主体が対策を実施することにより、被害をできるだけ小さくする。
内水ハザードマップ策定状況	有 (平成 31 年 3 月策定済み) ※既往最大降雨 71 mm/h、近隣市大規模降雨 105 mm/h、想定最大規模降雨 153 mm/h

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
主な事業 内容	公 助	ハード 対策	下水道管理者	・ 小山ポンプ場 排水能力 506.7m3/分 ポンプ原動機他更新工事 2基 (No.7、No.8) (ポンプ1台当たり 141.0m3/分)
			下水道管理者 以外	
		ソフト 対策	下水道管理者	・ 内水ハザードマップの公表 ・ 既設雨水管きょ施設の清掃
			下水道管理者 以外	・ 道路側溝の清掃 [建設部道路維持課] ・ 浸水履歴、浸水実績図の公表 [総務部危機管理課] ・ パートナー講座による市民への啓発 [総務部危機管理課] ・ 防災情報『松戸市マイ・タイムライン』の配布 [総務部危機管理課]
	自 助	ハード 対策		・ 土のうの設置
		ソフト 対策		・ マイ・タイムラインの作成

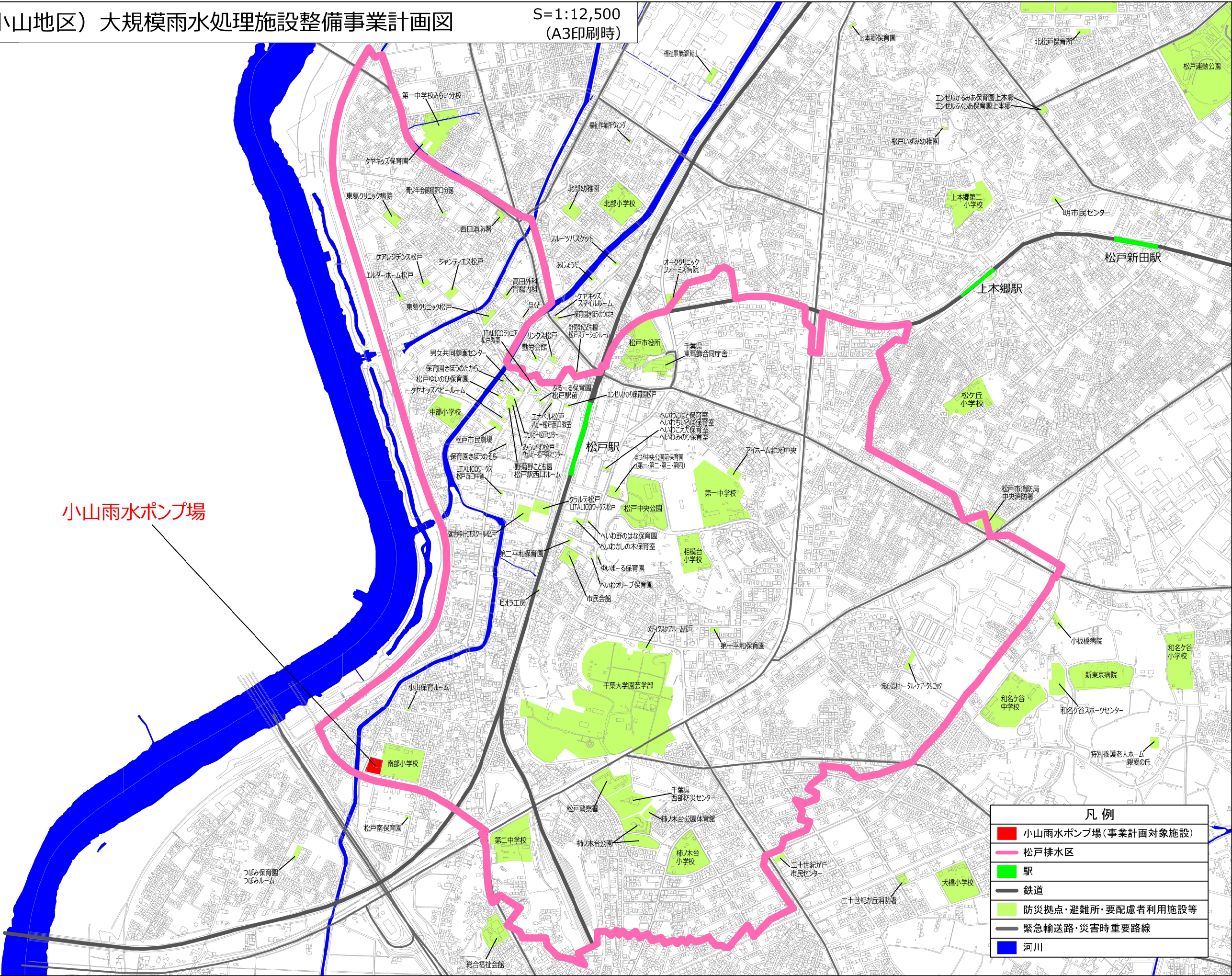
年度計画（百万円）

名称	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
小山ポンプ場	31	196	165	341	733
計	31	196	165	341	733

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	供用開始から 50 年以上が経過している小山ポンプ場について、雨水排水機能を適切に確保する。(ポンプ 1 台当たり 141.0m³/分)
放流先河川との調整状況	ポンプ場からの排水については、放流先の河川管理者と協議済み。
その他	雨水流出抑制施設の設置について、開発行為に該当する事業の場合には、「松戸市における宅地開発事業等に関する条例」及び「同施行規則」、「宅地開発事業に係わる雨水流出抑制施設設置基準」に基づき、施設の設置を義務付けている。また、開発事業に該当しない場合には、「松戸市雨水流出抑制施設設置指導要綱」に基づいた指導を行っている。[建設部河川清流課]

松戸排水区（小山地区）大規模雨水処理施設整備事業計画図

S=1:12,500
(A3印刷時)



※令和6年4月時点における情報をもとに表示しています。